

令和5年第8回（8月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年8月24日（木曜日） 13時15分 開会

2 場 所 山陽小野田市民館 第1講義室

3 出席委員 教育長 長友義彦 職務代理者 砂川功
委員 中村真也 委員 末永育恵

4 欠席委員 1人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤山雅之	教育次長兼社会教育課長	矢野徹
教育総務課長	浅川縁	学校教育課主幹	佐野崇幸
埴生幼稚園長	桶谷美和	学校給食センター所長	和田英樹
中央図書館長兼厚狭図書館長	山本安彦	歴史民俗資料館長	若山さやか
書記	野原嵩恵		

6 傍聴人 0人

7 議事日程

(1) 開会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報告

(4) 休憩

(5) 議事

① 議案第27号 議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について (教育総務課)

② 議案第28号 小学校において令和6年度から使用する全ての教科用図書の採択について (学校教育課)

③ 報告第8号 令和5年度全国学力・学習状況調査結果について (学校教育課)

(6) その他

① 県費負担教職員の人事について (学校教育課)

② 市職員の人事について (教育総務課)

③ その他

(7) 閉会

開 会

○長友教育長

それでは定刻になりましたので、山陽小野田市教育委員会会議規則による8月の定例教育委員会会議を開催いたします。

本日は竹田委員が欠席ですが、委員が過半数出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

会議録署名委員の指名

○長友教育長

それでは会議録署名委員の指名をいたします。末永委員、砂川委員、よろしくお願いいたします。

会議非公開の決定

○長友教育長

本日の議事、議案第27号「議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について」は、9月議会に提出される予定の議案であり、今日の審査の結果を市長に申し出た後、正式の議案となり、議会に提出されることとなります。

次に、議案第28号「小学校において令和6年度から使用する全ての教科用図書の採択について」は、公開することにより教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障を及ぼす恐れがあります。また、議事日程6「その他」の「県費負担教職員の人事について」及び「市職員の人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると思われまます。よってこれらの議案につきましては非公開にしたいと思ひます。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

賛成多数と認めます。それではレジュメに沿って進めます。

各課・館業務の報告

○長友教育長

報告事項に入ります。

まず私からです。中学生市議会・中学生海外派遣・地域行事の中学生の参加についてご報告いたします。

市ふるさとづくり協議会が主催する「中学生市議会」に、6月に行われました議会事務局主催の

中学生の議会傍聴と同様に、中学校における主権者教育の一環として、各中学校の代表者が参加しています。今年度は各学校3～4つの合計21の質問がありました。質問の内容は学校に関わることから、市の防災の対策や魅力発信、地域の活性化に関わることまで、よく考えられたものでした。どの質問に対しても市長部局・教育委員会として通常の議会と同様に協議し回答いたしました。中学生が地域の課題について学校全体で話し合い、自分事として捉えて考えることに大きな価値があると考えます。質問をしたのは代表者ですが、その後ろには一緒に話し合った仲間たちの姿を感じることができました。

次に中学生海外派遣です。4年ぶりに市民活動推進課が主催する「中学生海外派遣事業」が実施され、8月10日から8月20日まで、友好都市であるオーストラリアのモートンベイ市に中学生8名が行ってきました。出発にあたっては「迷う事であれば積極的に取り組むこと。色々体験したことを振り返ってみることを中学生にお話ししました。なお、先日リモートでモートンベイとの会議がありましたが、その時に中学生は参加できませんでしたが、現地で撮った動画を披露してくれました。どの子ども達の顔も大変輝いていたように思います。なお成果発表は後日行われる予定と聞いています。

最後に中学生の地域行事への参加です。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、4年ぶりに多くの地域でのお祭りが行われました。そうした中、準備等のお手伝いだけでなく実際に祭りに参画して活動した中学生も多数おります。与えられるだけでなく自分たちが考えて実行する取組は、子ども達の自主性や積極性を高めるだけでなく、地域を支える一人としての自覚が生まれるものと考えております。今後の地域行事において中学生の参画が増えていくことを期待しております。

以上で私からの報告を終わります。地域行事の中学生の参画については教育委員さんも実際に目にされたのではないかと思います。いかがだったでしょうか。

○中村委員

はい。

○長友教育長

はい、中村委員。

○中村委員

はい。埴生ぎおんふるさと祭りが7月29日糸根神社の境内で行われたのですが、中学生が司会進行をして、皆さんに好評をいただいております。これは一昨年前から中学生が参加して司会進行をという話が出て、徐々に中学生が自ら考えて進行しております。シナリオも一緒に作っていたのですが、ほぼ中学生に任せても大丈夫でした。そのように地域行事に子ども達が参加し、地域の人と一緒に活動するというのは非常にいいことであると思っております。

○長友教育長

ありがとうございます。

それでは各課からの報告をお願いいたします。藤山教育部長、お願いします。

○藤山教育部長

はい。私の方からは特にはございません。

○長友教育長

はい、それでは矢野教育次長、お願いします。

○矢野教育次長兼社会教育課長

はい。私の方からは令和6年度の「二十歳のつどい」についてお知らせいたします。令和6年度の「二十歳のつどい」は、令和6年1月7日（日）、三連休の真ん中になりますが、不二輸送機ホール（文化会館）で実施することとしております。運営方針につきましては、今年の1月に実施した「二十歳のつどい」と同様に2部制といたします。1部につきましては12時から山陽地区、間を取りまして15時から小野田地区を実施することとしております。新型コロナウイルス感染症が5類に分類されたということもありまして、来賓等も含め多くの方にご来場いただきたいと思っております。また、実施内容につきましては、コロナ前に成人をおもてなしするもの、喫茶コーナー等も設置しておったのですが、そういったものも復活させて、地域で成人をお祝いするという空気をしっかりと出して、成人の方もしっかりお祝いされているという思いを感じていただけるような成人式にしたいと思っております。教育委員の皆様におかれましては、ご出席を賜りますように改めてご案内いたしますので、よろしく願いいたします。

それから決算に向けて各センターでの主催講座の統計資料的なものを取りまとめております。令和元年に比べて令和4年度の実施につきましては、回数的には全センターでの合計900件だったのが1,100件と伸びています。参加人数につきましては逆に1万5千人だったのが1万3千人と減っている結果になっております。これが高齢化によるものであったり、1回の参加人数が減っているということになりますので、こちらにつきましてはしっかりと分析をして、今後に繋げていきたいと思っております。令和5年度につきましては途中ではありますが、コロナが5類に変わったということから順調な数字が期待できるのではないかと考えております。

夏季休業中におきまして、各センターではスタディールームの開設であったり、夏休みで子どもに向けての教室等の開催をしております。社会教育課が主に絡む事業といたしましては、小学生を対象とした木工教室、青少年育成協議会と合同で開催しておりますが、こちらにつきましては5校区で延べ100人の参加がありました。今年はブックスタンドを作成することとしておりまして、小学生自らの力でしっかりと作り上げてきたところでございます。

社会教育課からは以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

スタディールームは大変人が多いと聞いています。

○矢野教育次長兼社会教育課長

はい。各センターで多少の差はあるのですが、特に本山は多くの利用があるのと、赤崎では理科大生がボランティアで入ったりと活発に活動しているようです。

○長友教育長

はい、ありがとうございます。

それでは浅川教育総務課長、お願いします。

○浅川教育総務課長

はい。教育総務課から2点ほどご報告させていただきます。

1点目は高千帆小学校屋内運動場外壁改修事業の進捗についてです。夏休みに入り足場を組んで本格的に工事しております。現在は体育館正面の外壁を中心に工事をしており、正面の壁をはつた後塗装をし、配線工事を経て2学期から児童が体育館を使用できるように工事を進めております。

次に2点目が共催後援の報告です。別紙共催後援一覧をご覧ください。この1か月間、教育委員

会が共催後援を承諾した行事等の一覧となりますので、ご覧いただければと思います。

教育総務課からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

はい、それでは佐野学校教育課主幹、よろしく申し上げます。

○佐野学校教育課主幹

はい。夏休みも残り1週間となりました。各小中学校では、9月1日の2学期の始業に向けた準備を行っているところです。9月は特に、小中一貫校を含む全ての中学校が、9月9日（土）に運動会を午前半日日程で実施する予定です。また、本山小学校、松原分校、埴生幼稚園も9月中に午前半日日程で実施する予定です。

夏季休業中は、教職員にとって、研修のための時間を取りやすいことから、各学校とも様々な分野の研修に取り組んだり、県や市が実施する研修会に参加したりして、資質向上に努めています。

学校教育課においても夏季休業中に、各小中学校教職員を対象とした研修を実施しました。その一つとして、8月1日（土）に厚狭地域交流センターにおいて、鳴門教育大学の藤村雄一教授をお招きし、情報モラル教育に係る研修会を実施しました。児童生徒のネットワーク利用は、授業においても、家庭生活の中でも日常の一部となり、生活になくってはならない環境の一つとなっています。一方でネットワークによるトラブルも起きやすく、使う側の児童生徒の情報モラルを高めていく必要があります。本研修会では、子どもがトラブルを起こさないためにネットワークから隔離するのではなく、個人情報流出するなどの子ども達が見落としがちな部分をよく理解したうえで、自分を守る方法や他人を傷つけない意識を持つこと、生成AI等新たな技術に振り回されないよう正しい知識を身に付けていくことなど、教員が児童生徒への指導の具体を学ぶ良い機会となりました。

また、8月23日（水）には、同じく厚狭地域交流センターにおいて、兵庫教育大学の神内聡准教授をお招きし、生徒指導研修会を行いました。弁護士でもある神内准教授は、スクールロイヤーとしてもご活躍で、いじめや不登校などの学校課題に対して法的な立場から、具体的な例を交えながら対応の仕方等をお話しされました。教職員の大量退職、大量採用が続く中、教職員の対応力を高めることは、児童生徒を守るうえでも大切なスキルとなります。受講した教員からも、学校の組織力を強めるためにも良い研修となったと聞いています。

この他、人権教育や授業改善に向けた研修など様々な研修を進めているところです。

また、近年は、リモートでの参加も可能にしたことで、これらの研修会をより多くの教職員が参加できるように工夫しています。学校によっては、前半にリモートで講演を聞き、後半は教職員がワークショップで研修を行うなど、市の研修会をさらに効果的に活用している学校もあります。学校教育課では、今後も学校の活性化に向けた研修機会の提供を引き続き行ってまいります。

以上で、学校教育課からの報告は終わります。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はありませんか。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい。

○砂川委員

そろそろ2学期の準備等があると思いますが、学校医の立場から皆さんに注意がありますのでお伝えします。今年の夏休みは医者にとって夏休みどころではない、大変な夏を過ごしていました。この3年あまり「コロナ、コロナ」ということで医療機関は全て一点集中しておりましたけれども、コロナが5月8日から5類に移行したので、我々は非常に軽く診やすくなった。保育園から幼稚園、小学校、中学校、大人まで、ものすごい人数の患者が来られました。今、コロナがとても流行しています。私のところで今日の午前中だけでも2名の診断がついています。新学期が始まると流行する環境に置かれますので、絶対に手を抜かないようにして欲しい。特にマスクで予防する、そして手洗いを励行する。2学期になると運動会もあり行事も多い学期ですから、大変でしょうがご指導のほどよろしくお願いいたします。

○長友教育長

はい。ありがとうございます。それでは学校教育課は各学校へしっかりと指示をお願いします。

○佐野学校教育課主幹

はい。しっかりと指導してまいります。ありがとうございました。

○長友教育長

それでは桶谷埴生幼稚園長、お願いします。

○桶谷埴生幼稚園長

埴生幼稚園です。園の様子をご報告いたします。

前半の夏季希望保育を7月28日で終えました。今週より後半の夏季希望保育を行っております。夏季休暇中、職員はセミナーパークでの研修やオンライン研修、自己研修に参加し、さらなる質の向上を目指しております。また、月末8月31日は普通救命講習と、乳幼セ（乳幼児の育ちと学び支援センター）の近藤^{こんどうきみ}公先生をお招きして、気になる子の対応について園内研修を予定しております。

まだまだ暑い日が続いていますが、朝の涼しい時間帯に草刈や環境整備を行って、2学期の準備をしております。

埴生幼稚園からは以上でございます。

○長友教育長

はい、ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

それでは和田学校給食センター所長、お願いします。

○和田学校給食センター所長

はい。学校給食センターです。よろしく申し上げます。

この夏休み期間中は設備や厨房機器のメンテナンスや修繕などを行い、2学期からの給食の提供に向けて準備を進めております。

また8月19日（土）に親子食育料理教室を開催いたしました。今回は「地場産の野菜を使った料理を作って食べよう」をテーマに行い、日頃より学校給食でもお世話になっております株式会社グリーンハウス様、JA山口様に地場産の食材について生産者としてのお話ということで講義の方を行っていただくなどご協力をいただきながら開催いたしました。参加いただいた皆さん、親子で楽しそうに調理をされて、美味しくできたようでした。

学校給食センターからは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

それでは山本中央図書館長兼厚狭図書館長、お願いいたします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

図書館からご報告申し上げます。市立図書館関係資料をご覧いただければと思います。

中央図書館の《7月・8月行事報告》、8月15日から17日までの3日間、「夏休み宿題！？大作戦！！」を開催いたしました。これは図書館創発会議主催で、山口東京理科大学の学生と県立小野田工業高校の学生たちが手伝ってくれました。また、市内の子ども食堂さんのサポートも3日間ございました。そして【市民ギャラリー展示】ですが、8月30日までスペシャルスマイルプランナーのお一人である北永健人君の折り紙作品の展示を行っております。初日に市長もご来館いただき、また、宇部日報・山口新聞・KRYの取材もございました。

次に《8月・9月行事予定》、8月26日（土）、27日（日）に「夏休みファイナルイベント！」を中央図書館で開催いたします。26日は「こどもが作る！おばけやしき」ということで、書庫の中をお化け屋敷にして子ども達に楽しんでいただくということになっております。27日は子ども向けの映画、映写会「ざんねんないきもの事典」の上映会を行います。また大人向けとしては「老後の資金がありません！」という映画の上映会を行います。この映画は大変人気がございます、たくさん申し込みがございます。そして9月10日（日）、「図書館でオープンマイク！」を行います。

次に厚狭図書館の《7月・8月行事報告》、8月3日（木）と9日（水）に「こども図書館員～図書館のお仕事体験～」を開催いたしました。

そして《8月・9月の行事予定》、9月8日（金）、これは毎月行っているのですが「音読茶房」というのを開催いたします。この「音読茶房」というのは声に出して読むことが認知症予防の役に立つということから、色々な小説作品や詩などを声に出して読むということ、毎月午前の部と午後の部に分かれて開催しております。そして9月30日（土）に毎週「ワン・ツー・ど～ん！」という乳幼児向けのお話し会をしていますが、参加者の拡大を図ることから、スペシャル版として開催いたします。

図書館からは以上でございます。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい、砂川委員。

○砂川委員

はい。山本館長さんからはこうして毎回大変な資料を出していただきながらご説明していただいて、その活動ぶりには本当にいつも感心しております。この9月2日に開催されます第48回「サイエンス・カフェ」は、山口東京理科大学の工学部の大塚准教授が講演されるそうですね。山陽小野田市は山口東京理科大学があったり、小野田工業高校も一生懸命手伝ってくれたりしていて、新聞・テレビのニュースでは山陽小野田市は非常にレベルの高い行動をしているというのをいつも感じています。特に理科大があるというのがものすごく大きい。それをうまく利活用しているのが山本館長です。いつも感心していて、ありがたく思っています。ぜひ山陽小野田市らしい、他の市町にできないこと、特にこういう「サイエンス・カフェ」、そういうことをぜひ皆さんに知っていた

だきたいと思います。山陽小野田市はこんないい事をしているんだよ、ということより一層知っていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

ありがとうございます。サイエンス・カフェは2か月に1回開催している取組ですが、年内中に50回目という節目を迎えます。50回目という記念のイベントをこれから考えていきたいと思っていますので、またよろしくをお願いします。

○長友教育長

はい。サイエンス・カフェは高校生以上ということですが、小中学生については山口理科大と提携した取組があります。

○砂川委員

そうですか。

○長友教育長

説明してもらってもいいですか。

○佐野学校教育課主幹

はい。山口東京理科大学と連携して、理科に興味・関心をさらに高めていただきたいということで、大学の先生が各学校に出向いて、授業ではできない理科の実験等を体験させていただく講座があります。今2学期に全ての小中学校で1回以上、複数の希望がある学校では全て叶えていただける方向で、進んでおります。また、9月24日には大学開放デーの一部のコーナーを使って、子ども達の科学作品展を同時開催で進めさせていただくという取組も進んでおります。

○砂川委員

はい。

○長友教育長

はい、砂川委員。

○砂川委員

教育長、今このように先生からご説明があったとおり、山陽小野田市は他の市町と比較してもかなりレベルの高いことをしているということ

○長友教育長

砂川先生からご指摘があったように、山口東京理科大学が市内にあるというのは本当に強みだというふうに考えております。他市の教育長さんにも「山口東京理科大があるのはいいですね」と言われることが多いです。なおかつ、今、学校教育課主幹が言いましたように、ここ2、3年で出前授業というのも軌道に乗ってきて、理科的に興味がわくことをしていただけるんだなということで、どんどん希望が増えているところです。本当に理科大の先生が来てやっていただける実験というのは、最先端であったり、なかなか教室ではできないことをしていただけるので、毎回好評です。山口東京理科大と連携しながらとても良い取組をさせていただいていると考えております。

他はよろしいですか。

はい、それでは若山歴史民俗資料館長、お願いします。

○若山歴史民俗資料館館長

はい。歴史民俗資料館よりご報告いたします。

資料をご覧ください。企画展のギャラリートークや夏休みの埴輪づくり体験、今後の活動について資料を付けております。

次にチラシの方をご覧ください。9月9日から11月7日まで企画展「絵葉書の魅力」を開催いたします。絵葉書は文化財、伝統行事、自然災害など、その当時に注目されていたことや現在では失われてしまった風景などを見ることができる貴重な歴史資料になっています。歴史民俗資料館が所蔵する絵葉書の中から大正時代・昭和初期の市内近隣の物を中心に、様々な絵葉書を紹介いたします。絵葉書の資料調査・展示は初めてなので、多くの方にご覧いただけたらと思います。

資料館からは以上です。

○長友教育長

はい。ただ今の報告に関しましてご意見ご質問等はございませんか。

次回の会議日程

○長友教育長

それでは次回会議日程について、教育総務課長お願いいたします。

○浅川教育総務課長

はい。9月の定例会議の日時と場所をお決めいただきたいと思います。事務局からは、9月28日（木）午後2時、市役所第2別館会議室2で行う案でお諮りします。

○長友教育長

はい。皆様よろしいでしょうか。

はい、それでは前半を終了し、休憩に入ります。どうもお疲れ様でした。

13時46分休憩

13時47分再開

議案第28号 小学校において令和6年度から使用する全ての教科用図書の採択について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

議案第27号 議会の議決を経るべき議案に対する意見の申出について

地教行法第14条第7項ただし書きの規定により、非公開

○長友教育長

次に報告第8号「令和5年度全国学力・学習状況調査結果について」事務局、説明をお願いします。

○佐野学校教育課主幹

はい。4月18日に、小学校6年生と中学校3年生を対象として「全国学力・学習状況調査」が実施されました。本日は、その結果についてご報告させていただきます。

この調査結果は、松原分校の児童生徒を除く市内全ての学校の結果となっており、教科に関する調査では、小学校において国語と算数、中学校においては国語、数学及び英語が実施されました。

資料7調査結果に、教科に関する結果を載せております。本市の状況は、平均正答数及び平均正答率について小学校国語は全国を上回り、小学校算数及び中学校国語、数学、英語は全国を下回りました。

領域ごとに見てみると、小学校国語の「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、また中学校国語の「話すこと・聞くこと」の領域について成果が見られる一方で、小学校算数及び中学校数学の「図形」、中学校数学の「関数」、「データの活用」、中学校国語の「書くこと」、中学校英語の「聞くこと」、「読むこと」、その中でも特に「聞くこと」の領域に課題があることが分かりました。

児童生徒に対する質問紙調査では、小・中学校とも「前年度受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか」「学習した内容について、分かった点や、良く分からなかった点を見直し、次の学習に繋げることができているか」について、肯定的に回答した割合が全国と比べて高い結果となりました。また、小・中学校とも「将来の夢や目標をもっているか」「人の役に立つ人間になりたいと思うか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか」などの項目において、肯定的に回答した児童生徒の割合が全国と比べて高い結果となりました。

そこで、今回の結果を踏まえ、今後の重点的な取組を8番に3点焦点化して載せています。

一つ目に、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善です。その具体的な取組をいくつかご紹介いたします。

小学校算数及び中学校数学「図形」の課題改善に向けては、児童生徒が具体物を実際に操作したり観察したりする体験的な学習活動を、これまで以上に取り入れていくよう授業改善を推進していきます。中学校国語「書くこと」の課題改善に向けては、小・中学校を通して、また全ての教科や学習活動において、書くことの目的や伝えたい相手をしっかりと意識した取組への転換を推進します。

中学校英語「聞くこと」の課題改善に向けては、今年度から全ての中学校に導入されたデジタル教科書をより効果的に活用し、自然な口調で話される英語から概要や要点を聞き取る学習活動の充実を図ります。

また、授業のみならず、様々な教育活動、家庭学習において児童生徒自身が学習を計画し、実行し、振り返るといったサイクルを通して、児童生徒の主体性や当事者意識の醸成を推進します。

二つ目に、「個別最適な学び」の学習指導の改善・充実です。1人1台端末及びAIドリル等の活用により、児童生徒の習熟度に応じた学習、また個々のペースに応じた学習課題を選択して取り

組むことができる学習方法を推進します。併せて、引き続き、学校及び家庭において基礎学力の確実な定着を図ることができる学習環境の整備に努めていきます。

最後に、学校全体における組織的な取組の推進です。学力向上に成果が見られる学校への聞き取り調査を行い、学力向上担当者会議等において、その効果的な取組の共有を図ることで、各学校の取組支援を進めます。

以上3点に焦点化した取組を進め、児童生徒が今後も充実した学校生活を送れるよう、さらに各学校への指導と支援の充実に努めて参ります。

これで全国学力・学習状況調査の報告を終わります。

○長友教育長

はい。この件に関しましてご意見ご質問等ございましたらお願いいたします。

○中村委員

はい。

○長友教育長

はい、中村委員。

○中村委員

はい。「書くこと」、これは以前から我々が学校訪問していても、各学校の校長先生や担当者が弱いという指摘がありました。全国平均の半分以下という状況を聞いて、今の子ども達にとって「書くこと」に関する機会が少ないのかなど。学校では「書くこと」に関して、学校の授業あるいはテストを作る際に先生方が、「書くこと」を主体とした出題の仕方をしたり、授業でも意識してやらないと、と思います。先程は家庭でもという話がありましたが、学校でも「書くこと」を中心とした授業なりテストを。テストの採点という意識から、以前では人数が多ければ、○×の選択制のテストで採点することもありました。ところが学校によっては少人数、子どもの数が少なくなっているので、子ども達を書いたことに対する採点の仕方というのは工夫すればいいと思います。まず書かせること、それを意識付ければいいと思います。先生は書かれた内容を、段階的に評価をしていただきたい。「これはダメ」というのではなくて、書いているということに対して何とか評価をしてあげる、そういうテストの評価の仕方の工夫をして欲しいなというふうに思います。全国的にも、問われたことに対して書かなければゼロ点でしょうけれども、山陽小野田市の学校では書いたことに対してきちんと評価というか、ゼロ点ではなく段階的に採点することによって問いに対する子ども達の意識付けを、日頃からして欲しいなというふうに私は思います。以上です。

○佐野学校教育課主幹

はい。委員さんからいただいたご意見、本当にそのとおりだと思います。「書くこと」を中心に進める学習も忘れてはいけない大切な活動でありますので、しっかりとそのご意見を学校に届け、そして私達も指導を続けてまいりたいと思います。その中で特に、評価ということが出てきました。子ども達のしっかりと書いたことに「どこが良かったか」「どういうふうに」とか。例えば先生から朱書きで書かれたことに、子ども達は喜んだり友達と見せ合ったり。やはり学習したいという気持ちを育てていくことも同時に必要となりますので、様々なところから「書く」ということに子どもも先生も向き合えるようにこちらも指導と支援をしっかりとしていきたいと思います。ありがとうございます。

○長友教育長

小学校の国語については各校成果を得られたということなので、今から力がついてくるのかな、

と思います。ただ他教科、算数・数学において「書くこと」ができないということについては、今後の取組の中にありましたように、目的とか何をということが明確でないのかな、ということを感じますので、その辺り授業の中でも丁寧に触れていくことで改善を図っていかれるものと思います。

○佐野学校教育課主幹

はい。

○長友教育長

その他よろしいでしょうか。

それでは報告第8号「令和5年度全国学力・学習状況調査結果について」ご承認いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい。報告第8号は承認されました。

その他

県費負担教職員人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

市職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

その他

○長友教育長

次に(3)その他ですが、何かございますか。

(「ありません」の声あり)

閉会

○長友教育長

それではこれで本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆さん、お疲れさまでした。

14時01分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名する。

令和5年 8月 24日

教 育 長 印

署 名 委 員 印

署 名 委 員 印

会議録を調製した職員 印